

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 神経ブロック後、iv-PCA は必要か

[研究責任者] 医局麻酔科 梶山加奈枝

[研究の背景]

手術後の痛みを軽減させるために手術中に行う神経ブロックにおいて、手術後、薬の効果が消失した時に病室で痛みがひどくなることがあります。今回、神経ブロックを併用した全身麻酔施行患者さんにおいて、経静脈患者自己疼痛管理(以下 iv-PCA)の有無により手術後の追加の痛み止めの使用に差があるかを検討します。

[研究の目的]

神経ブロック併用全身麻酔施行患者における術後 iv-PCA 併用の有無による、術後鎮痛薬使用について検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 2 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までに鎖骨や腕の骨折の手術において腕神経叢ブロックが施行された、あるいはおなかの下を切る手術(腹腔鏡手術は除く)において腹横筋膜面ブロックが施行された方

●研究期間：2020 年 2 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

年齢、性別、麻酔記録(神経ブロックの種類、局所麻酔濃度・使用量、iv-PCA 併用の有無、術中アセリオ使用の有無、術中フェンタニル合計使用量)、術後病棟鎮痛薬使用の有無および種類・使用時間・回数、術後悪心・嘔吐(以下 PONV)発症の有無

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医局麻酔科 梶山加奈枝

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913